

辻 正雄教授 履歴・研究業績

学 歴

- 1965年4月 早稲田大学第一商学部入学
- 1969年3月 早稲田大学第一商学部卒業
- 1969年4月 早稲田大学大学院商学研究科修士課程入学
- 1971年3月 早稲田大学大学院商学研究科修士課程修了
- 1971年4月 早稲田大学大学院商学研究科博士課程入学
- 1974年3月 早稲田大学大学院商学研究科博士課程満期退学
- 1974年8月 イースト・ウエスト・センター，ハワイ大学経営大学院入学
- 1974年12月 イースト・ウエスト・センター，ハワイ大学経営大学院退学
- 1975年1月 カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）経営大学院博士課程入学
- 1978年1月 カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）経営大学院博士課程 C.Phil.
- 2012年3月 博士（商学）早稲田大学「経営者による会計政策—理論的考察と実証分析」

職 歴

- 1972年4月 早稲田大学商学部 助手
- 1978年4月 早稲田大学商学部 専任講師
- 1980年4月 早稲田大学商学部 助教授

- 1985年4月 早稲田大学商学部 教授
1986年9月 早稲田大学商学部教務担当教務副主任（至1988年9月）
1994年9月 早稲田大学商学部教務担当教務主任（至1996年9月）
2002年9月 早稲田大学商学部 学部長（至2004年9月）

学外兼職

学 会

- 1978年8月 日本会計研究学会 幹事（至1981年9月）
1992年8月 日本会計研究学会 幹事（至1995年9月）
2001年4月 コンピュータ利用教育協議会 監事（至2004年3月）
2002年4月 日本管理会計学会 常務理事（至2005年3月）
2005年4月 日本管理会計学会 副会長（至2008年3月）
2008年4月 日本管理会計学会 会長（至2011年3月）
2009年9月 日本会計研究学会 評議員（至2015年8月）
2011年4月 日本管理会計学会 常務理事
2012年9月 日本会計研究学会特別委員会 委員長（至2014年8月）
2015年10月 Asian-Pacific Management Accounting Association
Senior Director

大 学

- 1986年4月 放送大学 講師（至1989年3月）
1989年4月 早稲田大学 システム科学研究所 講師（至1994年3月）
2012年4月 東京農業大学 生物産業学部 講師（至2015年3月）

公 職

- 1993年9月 科学技術庁科学技術政策研究所 特別研究員（至1995年3月）
1999年4月 公認会計士第二次試験 試験委員（至2002年3月）
2002年4月 中小企業診断士試験委員会 基本委員（至2004年3月）

- 2004年4月 中小企業試験委員会 委員長（至2008年3月）
2004年7月 日本学術振興会 特別研究員等審査専門委員（至2007年3月）
2005年4月 公認会計士第三次試験 試験委員（至2006年3月）
2008年4月 経営系専門職大学院認証評価委員会 委員（2009年3月）

編著書

- 編著 『経営者による報告利益管理—理論と実証—』, 国元書房, 2016年3月。
単著 『会計基準と経営者行動—理論的考察と実証分析—』, 中央経済社,
2015年7月。
編著 『報告利益の管理と株式市場の反応』, 早稲田大学産業経営研究所,
2012年3月。
編著 『MBA アカウンティング ケーススタディ 戦略管理会計』, 中央経
済社, 2012年4月。
編著 『貸付用語辞典第9版』, 銀行研修社, 2007年4月。
編著 『会計ビッグバンの意義と評価』, 早稲田大学産業経営研究所, 2006年
3月。
Editor in Chief *The Journal of Management Accounting, Japan, Supplement*,
April 2006.
共著 『管理会計の基礎』, 税務経理協会, 2000年7月。
編著 『現代ビジネス用語』, 朝日出版社, 1996年1月。
共著 『意思決定の財務情報分析』, 国元書房, 1985年4月。

分担執筆

- 神戸大学会計学研究室編 『会計学辞典第6版』, 同文館, 2007年8月。
安藤英義他編 『会計学大辞典第5版』, 中央経済社, 2007年5月。
石塚博司編著 『実証会計学』 第17章「管理会計における理論モデルの有効

性」, 中央経済社, 2006年11月。

石塚博司編『会計情報の現代的役割』第2章「減損会計適用企業の財務分析への統計的アプローチ」, 白桃書房, 2005年7月。

櫻井通晴編著『管理会計辞典』, 同文館, 2000年3月。

日本管理会計学会編『管理会計学大辞典』, 中央経済社, 2000年8月。

田中隆雄編著『マーケティングの管理会計—市場と顧客に関する会計測定—』第12章「マーケティング費用および研究開発費に関する実証分析」, 中央経済社, 1998年12月。

岡本 清・廣本敏郎編著『新検定簿記講義 1級工業簿記』, 中央経済社, 1998年4月。

岡本 清・廣本敏郎編著『新検定簿記ワークブック 1級工業簿記』, 中央経済社, 1998年9月。

日本会計研究学会特別委員会報告書『市場・製品・顧客と管理会計の新しいパラダイム』, 同志社大学, 1997年9月。

櫻井通晴編著『わが国の経理・財務組織』, 第4章「日米における経理組織の実証研究」, 付録「販売費及び一般管理費における人件費の増加傾向」, 税務経理協会, 1997年11月。

神戸大学会計学研究室編『会計学辞典第5版』, 同文館, 1997年8月。

小川 冽編『経営分析辞典』, 1996年1月

森田哲彌・岡本 清・中村 忠編『会計学大辞典第4版』, 中央経済社, 1996年9月。

新井清光編『英和会計経理用語辞典』, 中央経済社, 1994年2月。

日本会計研究学会特別委員会報告書「新しい企業環境下における原価管理システムのあり方」, 1993年9月。

青木茂男編著『現代会計学辞典』, 税務経理協会, 1983年10月。

新井清光・津曲直躬編『会計学を学ぶ』, 「情報の価値とコスト」, 有斐閣,

1982年9月。

論文

単著

- 「経営者による会計政策と企業業績—減損会計基準の適用とその影響—」,
『商学研究科紀要』, 80, 1-18, 2015-03-25。
- 「米国における会計政策研究の系譜」, (大塚宗春教授 古稀祝賀・退職記念論
文集), 『早稲田商學』, (434), 117-161, 2013-01-15。
- 「わが国における会計政策に関する研究の系譜」, 早稲田大学産業経営研究
所, 産研シリーズ 47, 3-32, 2012-03-31。
- 「管理会計としての会計政策」(大谷孝一教授 古稀祝賀・退職記念論文集),
『早稲田商學』, (431), 467-507, 2012-03。
- 「金融商品会計基準の適用と企業業績への影響 (3)」, 『早稲田商學』, (426),
223-254, 2010-12。
- 「会計政策と企業業績の関連性に関する分析—保有する有価証券に係る会計
基準の適用」, 『企業会計』, 62(9), 4-10, 2010-09。
- 「管理会計の課題と展望に係わる基礎的視座」(特集 管理会計の課題と展
望), 『會計』, 177(2), 155-175, 2010-02。
- 「金融商品会計の適用と企業への影響に関する分析 (2)」, 『早稲田商學』,
(420・421), 1-37, 2009-09。
- 「金融商品会計基準の適用と企業業績への影響 (1)」, 『早稲田商學』, (418・
419), 247-277, 2009-03。
- 「減損会計の適用期別企業の財務分析」, 『産業經理』, 68(4), 13-31, 2009-
01。
- 「わが国企業における適応的会計政策 (2・完) —税効果会計と退職給付会
計の影響と対応」, 『會計』, 172(2), 257-267, 2007-08。

「わが国企業における適応的会計政策（1）—税効果会計と退職給付会計の影響と対応」, 『會計』, 172(1), 1-12, 2007-07。

「会計ビッグバンの意義」, 早稲田大学産業経営研究所, 産研シリーズ 37, 1-25, 2006-03-15。

「減損会計早々期・早期適用企業の財務分析」, 『企業会計』, 57(4), 468-475, 2005-04。

「連結決算に係る新基準の経営および資本市場への影響」, 『企業会計』, 55(3), 308-316, 2003-03。

「日米企業の比較財務諸表分析—統計的アプローチ」, JICAP ジャーナル, 14(1), 51-55, 2001。

「わが国上場企業の財務的評価への統計的アプローチ（二・完）」, 『會計』, 159(5), 126-141, 2001。

「わが国上場企業の財務的評価への統計的アプローチ（一）」, 『會計』, 159(4), 28-44, 2001。

「販売費及び一般管理費に関する実証分析—広告宣伝費と研究開発費を中心として」(特集 研究開発・広告戦略と管理会計), 『企業会計』, 49(8), 1065-1073, 1997-08。

「資本コストと収益性の格差の分析—日米製造業の比較」, 『早稲田商学』, 363, 149-170, 1995。

“Comparative Profitability Analysis of Japanese and American Manufacturing Industries,” *The Sixth Tokyo Keizai University International Symposium: Evolution of Management Accounting under Changing Environment*, November 17, 1994.

「日米における経理組織の特徴」(会社のリストラと変わる経理部〈特集〉), 『企業会計』, 46(10), p1345-1350, 1994-10。

「日米製造業における業種別収益性の比較分析」, 『産業経理』, 53(4),

p2-12, 1994-01。

「日米製造業の財務体質に関する比較分析」, 『會計』, 144(5), p604-623, 1993-11。

「単独と連結の決算による比較財務分析 (1)」, 『早稲田商學』, (357), p47-76, 1993-07。

「多変量解析による財務情報分析の有効性」, 『早稲田商學』, (354), p179-203, 1992-07。

「情報技術による管理会計システムの新展開」(会計の本質と職能の再検討—情報化の中で〈特集〉), 『會計』, 136(5), p666-680, 1989-11。

「エイジェンシー・モデルによる条件付き情報システムの分析 (2)」, 『早稲田商學』, 331/332, 67-88, 1989-01。

「差異調査決定に関するエイジェンシー・アプローチ」, 『産業經理』, 47(3), p46-53, 1987-10。

「DSS による予算管理システム」(予算管理の有効性を問う〈特集〉), 『企業會計』, 39(7), p777-782, 1987-07。

「予算管理のための意思決定支援システム」, 青木茂男編『予算管理ハンドブック』, 中央経済社, 1986年5月。

「情報の私的および社会的価値の評価に関する数量分析」, 『早稲田商學』, (314・315), p821-840, 1986-02。

「エイジェンシー・モデルによる条件付き情報システムの分析 (1)」, 『早稲田商學』, (308), p555-573, 1985-01。

「エイジェンシー理論と差異調査の決定モデル (2)」, 『早稲田商學』, (306・307), p369-395, 1984-07。

「エイジェンシー理論と差異調査の決定モデル (1)」, 『早稲田商學』, (304), p881-898, 1984-02。

「不確実性における業績管理システム」小川 冽編著『財務会計の展開』, 中

央経済社, 1983年6月。

“A Mathematical Analysis for Designing an Exception Reporting System”
in *A Compendium of Research on Information and Accounting for
Managerial Decision and Control in Japan*, American Accounting Asso-
ciation, 1982.

「代替的調査領域の比較分析」(早稲田大学創立百周年記念論文集-3-経営学・
会計学特集), 『早稲田商學』, (297), p189-211, 1982-10。

「最適な調査領域の数理的分析」, 『早稲田商學』, (294), p795-816, 1982-
03。

“A Behavioral Extension to the Cost Variances Investigation Decision,”
Journal of Business and Finance & Accounting, 1981. (reprinted in J.
Bell ed. *Accounting Control Systems: A Behavioral and Technical Inte-
gration*, Markus Wiener, 1983.).

「原価差異の重要性と調査—サーベイと拡張—」, 『企業会計』, 33(6),
p1057-1061, 1981-06。

“The Role of Management Science in Human Resource Management and
Accounting,” *Waseda Business & Economic Studies*, 1981. pp.75-101.

“A Conceptual Approach to Information Evaluation under Uncertainty,”
Waseda Business & Economic Studies, 1980. pp.35-62.

「会計システムの選択に関する理論的考察」, 『早稲田商學』, (277), p19-
38, 1979-06。

“Evaluation Methods for Networks of Information and Decision Systems,”
『産業経営』1978年12月, pp.107-123。

「差異調査決定のための数理モデル—連続確率分布のアプローチ—」, 『早稲
田商學』, (273), p425-449, 1978-07。

「不確実性下における情報構造の評価モデル」, 『早稲田商學』, (243),

47-74, 1974-06。

共 著

「企業倒産予知モデルの構築と比較分析」, (共著者: ヴァチエスラフ ジュロフ), 『産業経理』, 67(1), 4-17, 2007-04。

「財務分析による研究開発投資の効果比較」, (共著者: 米澤克雄), 『研究技術計画』 10(3/4), 243, 1997-05-09。

“Comparative Study of Financial Organization in the US and Japan” (共著者: 櫻井通晴, 竹本達広) 『専修経営学論集』 第63号, 1996年 9月。

「経理・財務の役割とその変革—経営の効率化をめざして—」 (共著者: 櫻井通晴, 竹本達広), 『専修経営学論集』 (58), p1-38, 1994-03。

「経営速度指標としての通過時間—下」, (共著者: 阿保栄司), 『企業会計』, 46(3), p379-384, 1994-03。

「経営速度指標としての通過時間—上」, (共著者: 阿保栄司), 『企業会計』, 46(2), p263-269, 1994-02。

「ADAMS に関する三つの考察—多段階意思決定モデルの自動設計に関する研究—」, (共著者: 新澤雄一, 横田信武), Bulletin of the Centre for Informatics, Waseda University, Vol.4, Autumn, 1986年。

研究資料

「経済的に最適な業績評価と管理システム」(管理会計情報ファイル), 『企業会計』, 34(6), p917-919, 1982-06。

「予算システムにおける経済的インセンティブ」(管理会計情報ファイル), 『企業会計』, 34(4), p611-615, 1982-04。

「標準設定における情報インセンティブ」(管理会計情報ファイル), 『企業会計』, 34(2), p278-282, 1982-02。

「不確実性と管理可能業績に基づく評価」(管理会計情報ファイル), 『企業会

計』, 33(13), p2237-2240, 1981-12。

「原価差異の調査決定モデルの評価」(管理会計情報ファイル), 『企業会計』, 33(8), p1367-1370, 1981-08。

「原価差異調査—マルコフ過程のマルコフ的管理—」(管理会計情報ファイル), 『企業会計』, 33(7), p1229-1232, 1981-07。

書 評

加登 豊・松尾貴巳・梶原武久 編著『管理会計研究のフロンティア』中央経済社刊, 『企業会計』, 2011年4月。

金児 昭 著『Mr. 金川千尋—世界最高の経営』中経出版刊, 『税経通信』, 税務経理協会, 2011年2月。

金児 昭 著『会社の価値を高める会計—「見えない資産」の評価と活用』日本経済新聞社, 『企業会計』2003年9月。

その他

The Journal of Management Accounting, Japan Supplement 2, Japanese Association of Management Accounting March 2014.

円卓討論「管理会計の課題と展望」(特集 管理会計の課題と展望), 辻 正雄, 原田 昇, 上埜 進, 古賀健太郎, 『會計』, 177(2), 249-281, 2010-02。

「早稲田大学商学部創設百周年記念論文集の発刊に寄せて」(早稲田大学商学部創設百周年記念論文集), 『早稲田商學』, (400), 巻頭1-3, 2004-09。

「消息 塩原一郎先生のご退職にあたって」『早稲田商學』, (392), 741-744, 2002-03。

「私の考える21世紀の会計ビジョン」, 『企業会計』, 38(9), p1313-1315, 1986-09。

「原価計算基準への提言について」（第41回日本会計研究学会全国大会—「わが国会計諸基準の現代的課題」をめぐる報告と討論）『企業会計』, 34(8), p1318-1324, 1982-08。

学会報告

単 独

統一論題「管理会計の課題と展望」座長, 日本会計研究学会第68回全国大会, 関西学院大学, 2009年9月。

統一論題「企業価値：市場の期待と業績管理」座長, 日本管理会計学会第11回年次全国大会, 東北大学, 2001年10月。

「わが国上場企業の会計情報分析—統計的アプローチ—」, 日本会計研究学会第48回関東部会, 東京理科大学, 2000年12月。

「商学教育におけるコンピュータ利用の現状と将来」, PCカンファレンス, 早稲田大学, 1996年7月。

「数理モデルの管理会計学への適用—特にゲーム理論, 数理計画法およびエージェンシー理論の観点から—」 討論者, 日本管理会計学会1996年度第2回フォーラム, 大阪大学, 1996年7月。

「情報技術による管理会計システムの新展開」, 日本会計研究学会全国大会統一論題「会計の本質と職能の再検討—情報化の中で」, 1989年8月。

「管理会計における理論モデルの有効性」, 日本会計研究学会全国大会統一論題「管理会計のパラダイム」, 1987年9月。

共 同

“An Empirical Study on Earnings Management of Japanese Firms by Classification Shifting” (Co-author: Chien-Min Kevin Pan), American Accounting Association, Annual Meeting, Anaheim, August 2012.

“Classification Shifting and Reporting Behavior of Japanese Firms on

Extraordinary Items” (Co-author: Chien-Min Kevin Pan), European Accounting Association 34th Annual Congress, Rome, April 2011.

「暖簾実現概念における業績評価と業績報告」, (共同報告者: 野坂和夫), 日本管理会計学会第14回年次全国大会, 立教大学, 2004年9月。

「連結決算情報に基づく企業価値評価の有用性—Ohlson モデルによる評価を通して」, (共同報告者: 矢内一利), 日本管理会計学会第14回年次全国大会, 立教大学, 2004年9月。

「企業の現金保有と経營業績—バブル経済期における日本企業の実証分析」, (共同報告者: 潘健民), 日本管理会計学会第13回年次全国大会, 関西学院大学, 2003年9月。

「業種特性が与える影響の観点からの Ohlson モデルの詳細な検証」(共同報告者: 矢内一利), 日本管理会計学会第11回年次全国大会, 東北大学, 2001年10月。

「Ohlson モデルによる株価説明力に関する考察」(共同報告者: 大鹿智基), 日本管理会計学会第10回年次全国大会, 上智大学, 2000年9月。